

LAWN MOWER

充電

芝刈機

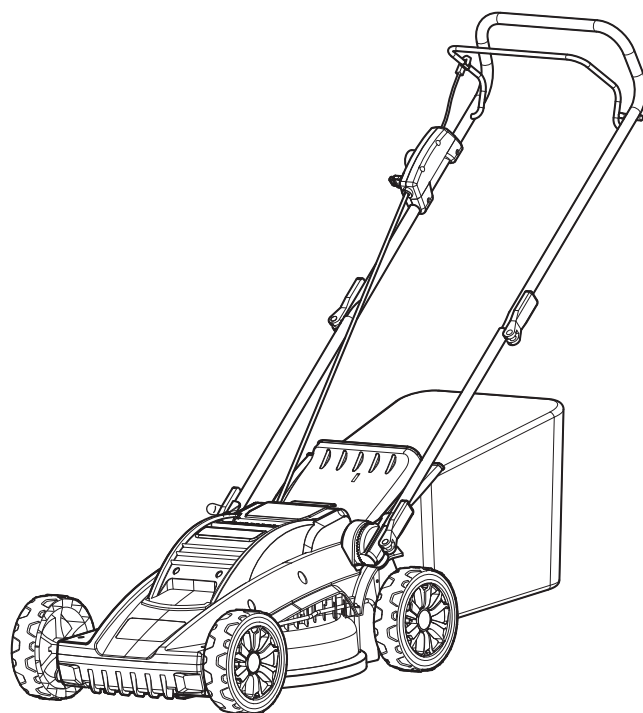
キーパーモアー

PGK-3700

このたびは、プロギア／キーパーモアー
をご購入いただき、誠にありがとうございます。
います。

本書は運転操作および保守上の重要な項目
について説明したものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、正しく
ご使用いただくとともに、お使いになる
方がいつでもご覧いただけるように大切に
保管してください。



目次

安全にお使いいただくために	2	2. 芝刈作業	17
1. 芝刈機／本体	3	2-1. 芝刈作業をする	17
2. バッテリー・充電器	6	2-2. 芝刈作業を終了する	19
各部の名称と仕様	9	お手入れ方法と保管方法	20
芝刈機の取扱い	11	1. お手入れ	20
1. 芝刈作業までの準備	11	1-1. ブレードの交換	20
1-1. バッテリーを取外し、充電をする	11	1-2. 芝刈機のお手入れ	21
1-2. ハンドルを本体へ取付ける	13	2. 保管について	22
1-3. グラスキャッチャー（集草器）を 取付ける	14	2-1. ハンドルの折りたたみ方	22
1-4. 刈高さ（刈った後の芝生の長さ）を 設定する	15	2-2. 長期保管後のご使用について	24
1-5. 作業前の点検をする	16	トラブルシューティング	25
		1. こんなときは	26
		1-1. バッテリーの保護回路が 作動した時は	26

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、お客様への危害や損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

警告

死亡または重大な傷害を受ける事故が発生する恐れがある内容です。
禁止事項は絶対にやめてください。

注意

軽傷または中程度の傷害を受け、財物の損壊等につながる事故が発生する恐れがある内容です。充分にご注意ください。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。

取扱説明書について

- この取扱説明書は本機を操作するときは、必ず身近な所に置いてください。
 - 本機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒に取扱説明書もお渡しください。
 - 紛失や損傷したときは、お買い上げいただいた販売店に連絡してください。
-

安全にお使いいただくために

1. 芝刈機／本体

⚠ 危険



よく読む

使用の前に取扱説明書をよく読む

- 芝刈機を使用する場合は、取扱の方法、作業の仕方等を習得してから慎重に芝刈作業をしてください。



禁止

芝刈作業以外には使用しない

- 本機は芝生を刈るために設計・製造されていますので、芝刈作業以外には使用しないでください。目的以外で使用されますと、ケガや事故の原因になります。また本機の寿命を縮めます。

傾斜面等、不安定な場所での作業及び放置はしない

- 傾斜地で作業（使用）をすると、本機がバランスを保つことができず転倒し事故が発生する恐れがあります。

刃部に手足等、身体を近づけない

- 本機の点検・調整・手入れなどを行う場合は、特にケガ防止の為に必ず手袋を着用してください。
- 芝刈作業中にブレードに、手や足等で触れないでください。ケガの原因になります。
- 安全キー及びバッテリーを本機に差し込んでいる間は、絶対にブレードに身体を近づけないでください。

子供や操作方法が理解出来ない方は使用しない

- 本機の操作方法をご存知ない方、または理解できない方には操作させないでください。
- 本機に子供や物品を乗せたり、子供に操作をさせないでください。
- 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめください。

こんなときには使用しない

- 夜間及び天候の悪い時は使用しないでください。
- 疲れている場合は使用しないでください。もし本機を使用中に疲れた場合は、作業を中断し休憩してください。
- グラスキャッチャー、各部のカバー類を外した状態では危険ですので、使用しないでください。

雨天のときは芝刈り作業をしない

- 芝生が濡れていると転倒によるケガ等の恐れが有り危険ですので、芝刈作業はしないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 危険



必ず守る

ハンドル折りたたみ時は…

- ハンドル下と本機を固定しているハンドルロックレバーだけを開いた状態で、ハンドルを前方に倒さないでください。
スイッチが不意に入り、ブレードが回転して大変危険です。

⚠ 警告



点検・確認

使用の前に各部の点検・調整及び組立方法を確認する

- 正常でない本機を使用するとケガや故障の原因になりますので、各部の点検・調整及び組立方法を確認してください。
- 各部のネジ・ブレードナット・ハンドルロックレバーに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に動作するか充分点検してください。
- 本機の組立を適切に行ってください。
- 本機のバッテリー差込み端子のほこり・汚れを取り除いてください。



必ず守る

感電の恐れがありますので、下記のことを守って作業する

- 雨中での作業はしないでください。
- 雨上がりや散水直後の作業はしないでください。
- 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないでください。
- 濡れた手でバッテリーの脱着操作をしないでください。
- バッテリーの端子に金属類・異物を挿入しないでください。
- バッテリーを分解しないでください。
- 水中に投棄しないでください。

次の作業は安全キーを取外し、ブレードの回転が完全に停止した後にバッテリーを本機から抜き取ってから行う

- 組み立てる時。
- グラスキャッチャー（集草器）の脱着時。
- ブレードに石、金属等の異物が当たって異常を感じた時。
- 刈高さの調節をする時。
- ブレードの交換をする時。
- その他調整・点検・修理を行う時。
- 持ち運びする時。
- 使用しない時。保管する時。

子供やペットを近づけない

- 芝刈作業時に飛散物によりケガをする恐れがありますので、作業員以外は作業場に近づけないでください。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告



必ず守る

作業に適した服装で作業する

- 操作時は常に安全面に配慮し、長袖・長ズボン（袖・裾のダブつきのない）などの作業服を着用してください。
- 各部の点検、整備、調整及び芝刈作業時は、JIS等の規格に合格した安全帽を着用するとともに手袋、防塵メガネ・耳栓等をつけ、足元の保護のため安全靴を履いてください。

使用前に芝生内の障害物を必ず取除く

- 小石、木片、金属片等があると、刃先等を傷めたり故障の原因及び、障害物の飛散によるケガの原因となりますので取除いてください。

⚠ 注意



必ず守る

本機をぶついたり、落下させたり強い衝撃を与えない

- 刃物や本体などに破損、亀裂、変形があるとケガや故障の原因となります。

本機の分解や改造をしない

- 本機の手入れに必要な部品は、安全確保のために純正部品を使用してください。
- 本機に異常を感じた時は直ちに作業を中止し、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 取扱説明書の記載以外の分解修理及び改造は行わないでください。故障する恐れがあります。

濡れた芝生は刈らない

- サビなど芝刈機の故障の原因となります。

使用後や収納保管時の注意点

- 使用後は必ず手入れをして、湿気の少ないところに保管してください。湿気の多いところではサビが発生して刃が切れなくなり、故障の原因となります。
- 収納時は、ハンドルを折りたたむ等の処置を施し、芝刈機が倒れても危険のないようにしてください。
- 使用後はお子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管してください。

不要になったバッテリーの処理

- 本機はリチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な希少資源を含んでいますので、不要になった場合は販売店までお持ちください。

安全にお使いいただくために

2. バッテリー・充電器

⚠ 警告



必ず守る

専用の充電器とバッテリーを使用する

- 充電器とバッテリーは、取扱説明書に記載されている純正品を使用してください。ケガや事故の原因になります。

故障や事故の恐れがありますので、下記のことを守って充電する

- 充電中に発煙、異臭等の異常が発生した場合は、すぐに充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない時は、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグおよびコンセントに溜まったほこりや汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

バッテリーの端子間を短絡させない

- 金属類が入っている箱等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。

感電の恐れがあるので注意する

- 濡れた手でバッテリーや充電器の電源プラグに触れないでください。

作業場の周囲状況を考慮する

- 充電器・バッテリーを雨中や濡れた(湿った)場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 可燃性のある液体やガスのある場所での使用や、充電は行わないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- 雷が発生している時は充電せず、電源プラグをコンセントから抜いてください。落雷による火災、感電の恐れがあります。
- ほこりや粉塵の多い場所で使用、保管をしないでください。内部に粉塵等の異物が入ると、発熱、火災、事故の原因となります。

バッテリーを火中に投入しない

- 火中に投入すると、破裂や有害物質の出る恐れがあります。

安全にお使いいただくために

⚠ 注意



必ず守る

最初の使用前に

- この充電器は、定格表示してある家庭用コンセント (AC100V) で使用してください。直流電源やエンジン発電機、変圧器を使用しないでください。
- 気温が0~32℃ある場所で充電してください。
- バッテリーの通風孔をふさがないようにし、換気のよい場所で充電してください。
- 必ず最初の使用前に3時間以上バッテリーを充電してください。

バッテリーおよび充電器の取り扱い

- バッテリーや充電器を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。また外郭ケースが破損した場合は使用しないでください。
- バッテリーや充電器を分解したり、改造したりしないでください。火災、感電等の恐れがあり、事故の原因となります。

充電器のコードを乱暴に扱わない

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜いたりしないでください。
- コードを熱、油、角の尖った所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けたりして損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。

異常に気がいたら

- お買い求めの販売店へ点検・修理に出してください。サービスマン以外の人はバッテリーや充電器を分解しないでください。

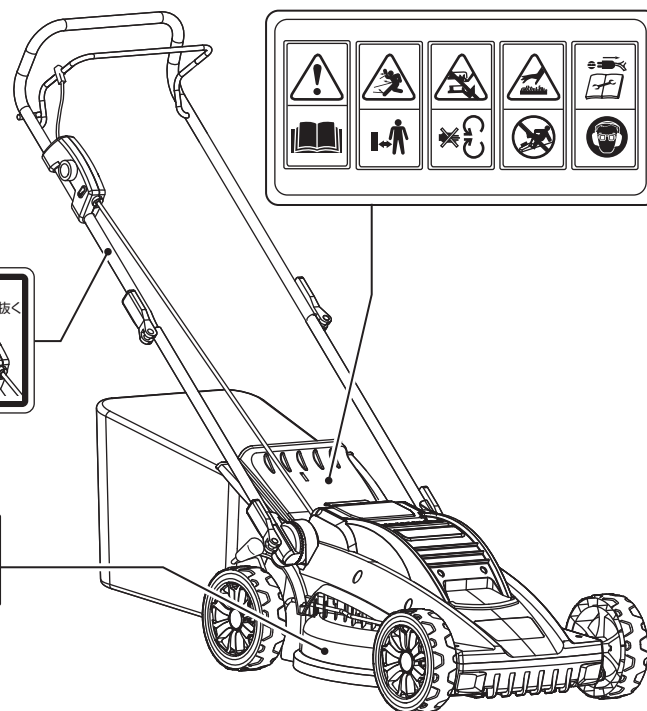
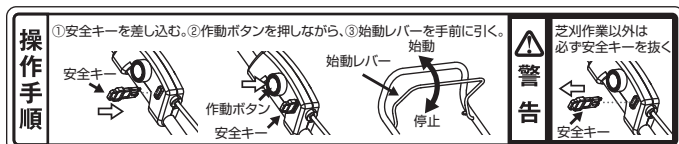
バッテリーの保管

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- バッテリーを、気温が32℃以上に上がる可能性のある場所 (金属の箱や夏の車内など) に保管しないでください。バッテリーの劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- バッテリーを最良の状態に保つ為に、使用していない場合でも2ヶ月毎に充電してください。
- 充電完了後は、必ずバッテリーを充電器から外して保管してください。

安全にお使いいただくために

警告・注意ラベルの貼付位置と説明

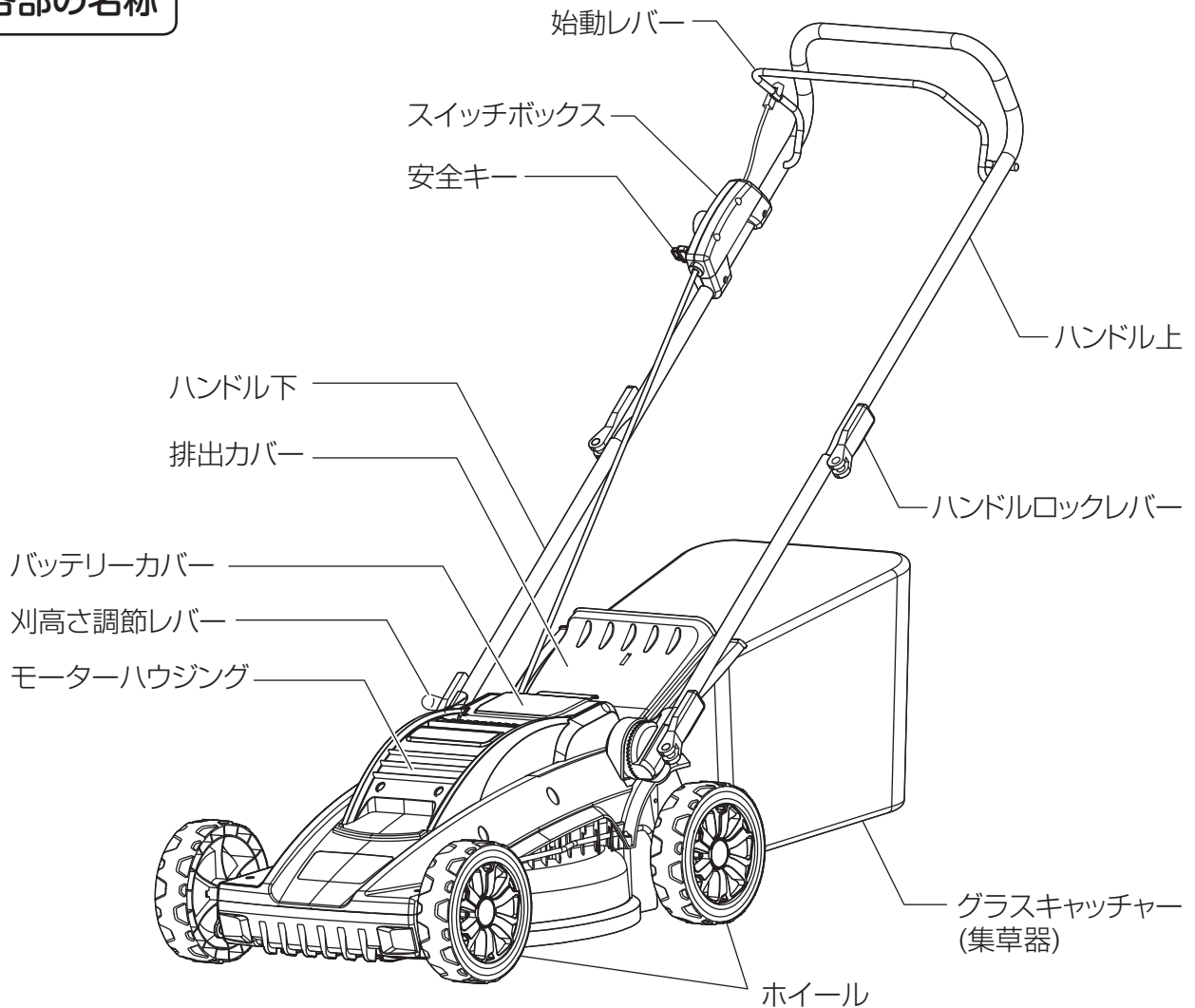
安全に使用していただくために、本機には警告・注意ラベルが貼ってありますので、よく読んでからご使用ください。なお、ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。



ラベル	説明
<p>⚠ 危険</p>	<p>手足を近づけない。</p>
<p>⚠ 警告</p>	<p>① 必ず、使用前に取扱説明書を読む。 ② 飛散物があるので、芝刈機より安全な距離をとる。 ③ ブレードが回転している時は、絶対に手足を近づけない。 ④ 傾斜地では転倒の恐れがあるので、使用しない。 ⑤ 調整・点検・保守・修理作業を行う前に、必ず安全キー・バッテリーを抜く。作業中は必ず目と耳の保護の為、防塵メガネ／耳栓を装着する。</p>

各部の名称と仕様

各部の名称



仕様

型 式	PGK-3700	刈込み幅	370 mm
定格バッテリー	3.0Ah/DC36 V	刈込み高さ	25・35・45・55・65 mm ^{※1}
定格周波数	50/60 Hz	刈込み能力	約 647.5 m ² /h
ブレード回転数	約 3000 rpm	装備寸法 ^{※2}	(L)1350×(W)425×(H)800 mm ^{※3}
定格時間	30分	乾燥質量	12.1 kg
刈込み方法	ロータリー式・1枚刃		

本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

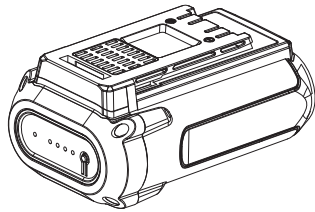
※1 作業される芝生(地面)の条件によって異なります。

※2 “H”はハンドル高さを表します。

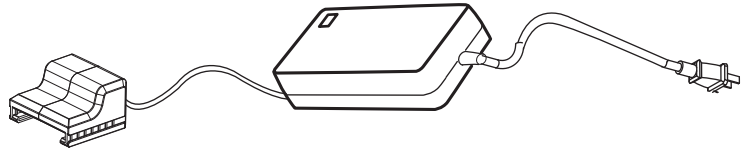
※3 グラスキャッチャー、ハンドル組立て時の寸法です。

各部の名称と仕様

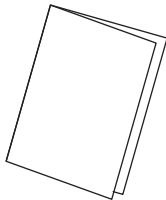
付属部品



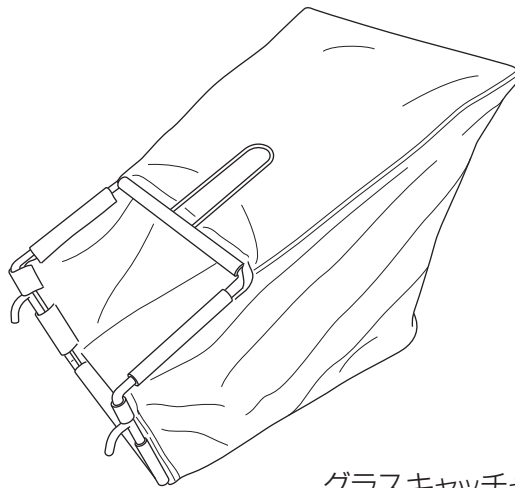
バッテリー……1



充電器……1



取扱説明書
……1



グラスキャッチャー……1

必ず梱包品の確認を行ってください

⚠ 注意



必ず守る

- 開梱、組立作業は、けが防止のため必ず2人以上で行い、作業者は安全靴・手袋を着用してください。

段ボール箱を開封し、梱包品が全て揃っているか確認してください。

※箱、梱包材は収納時や移送時に必要です。大切に保管してください。

1. 芝刈作業までの準備

⚠ 警告



必ず守る

- ケーブル類を、ハンドルで巻き込んだり、挟み込んだり、折ったりしないでください。本機の性能を充分発揮出来ないばかりか、緊急時に事故回避操作ができない場合があります。
- 本機の組立・各部の調整が終わるまで、安全キー・バッテリーを抜いた状態にしておいてください。

⚠ 注意



刃物注意

- 本機の組立てや各部の調整を行う場合は、ケガ防止の為に必ず手袋を着用し、ブレードに充分注意してください。

1-1. バッテリーを取外し、充電をする

⚠ 警告



必ず守る

- 感電の恐れがありますので、バッテリーの端子に触れないでください。
- バッテリーに強い衝撃を与えないでください。火災、感電等の恐れがあります。
- バッテリーケースが破損した場合は絶対に使用しないでください。

⚠ 注意



必ず守る

- バッテリー、本機の端子のほこり等を取り除いてください。接続不良の恐れがあります。

工場出荷時にはバッテリーは本機に取付けてありますので、使用前に本機より取外して必ず充電してください。

ポイント

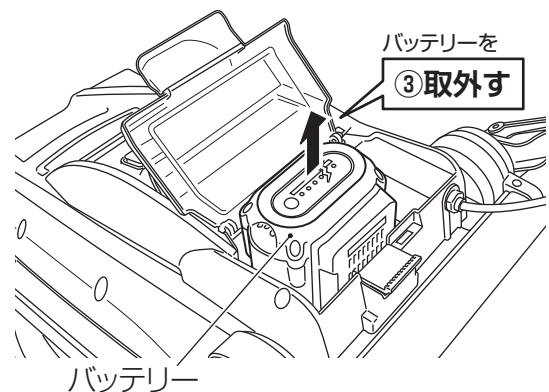
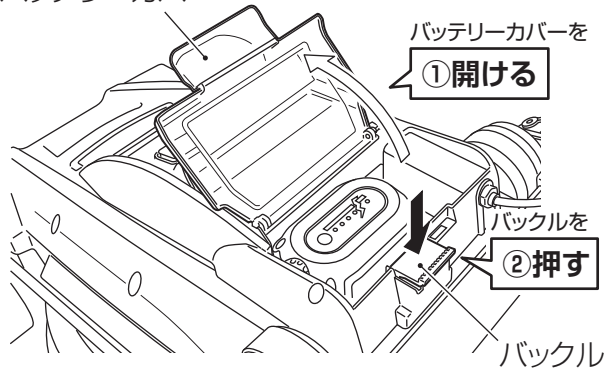
芝刈機を長期間使用していなかった場合、バッテリーが放電している可能性があります。必ず芝刈機を使用する前に充電を行ってください。

芝刈機の取扱い

バッテリーの取外し・取付けのしかた

- ① バッテリーカバーを開けます。
- ② バッテリーを固定しているバックルを押します。
- ③ バッテリーを取外します。
- ④ バッテリーを充電します。
- ⑤ 満充電のバッテリーを本機に“カチッ”と音がするまで確実に押し込みます。
- ⑥ バッテリーカバーを閉じます。

バッテリーカバー



バッテリーの充電のしかた

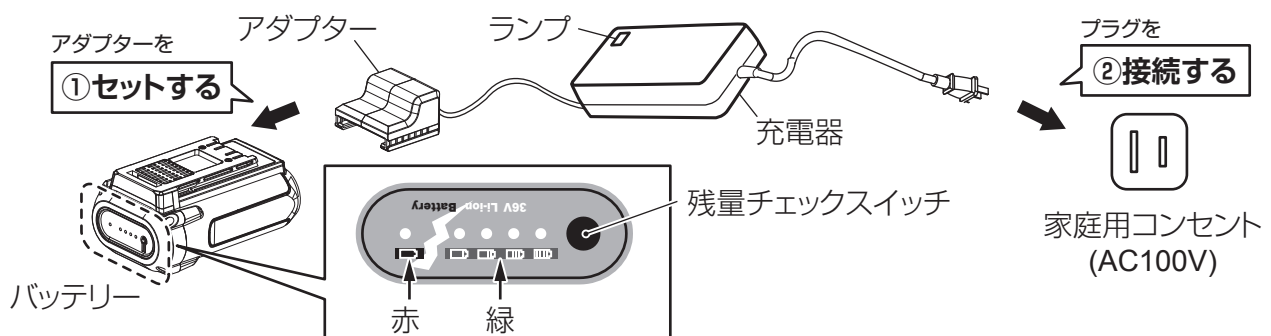
⚠ 注意



必ず守る

- 充電器の電源プラグは、必ず定格表示のある家庭用コンセント (AC100V) に接続してください。直流電源やエンジン発電機で充電した場合、充電器が異常に発熱し、故障の原因になります。
- 必ず最初の使用前にバッテリーを3時間充電してください。

- ① 充電器のアダプターをバッテリーにセットします。
- ② 充電器のプラグを家庭用コンセント (AC100V) に接続します。
- ③ 充電器のランプが赤色に点灯し充電を開始します。
- ④ 充電器のランプの赤色が消えて、緑色に点灯すると充電完了です。
完全放電状態からの充電時間は約2.5時間必要です。



ポイント

モニターの残量チェックスイッチを押すことで、バッテリーの残量が確認できます。
右表の「ランプ点灯状態とバッテリー残量」を、ご参考ください。

ランプ点灯状態		バッテリー残量
緑色点灯	4個	満充電
	3個	60% 残量
	2個	50% 残量
	1個	40% 残量
赤色点灯		充電必要

1-2. ハンドルを本体へ取付ける

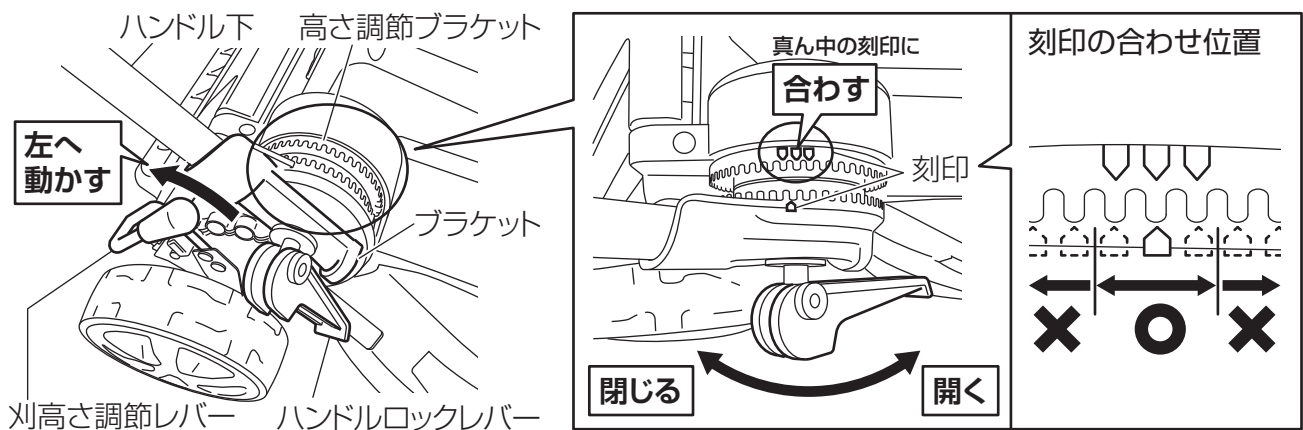
⚠ 注意



必ず守る

- ハンドルロックレバーは、ハンドル下のブラケット刻印と高さ調節ブラケットの3つの刻印の合う位置で閉じてください。刻印位置以外ではハンドル下のブラケット／ハンドルロックレバーを、確実に固定することはできません。

まず刈高さ調節レバーがハンドルロックレバーの操作を妨げないように刈高さ調節レバーを一番左側の位置にした状態で、本機に取り付けてあるハンドル下（左右各1個）を起こし、高さ調節ブラケットの3つある刻印の真ん中とハンドル下のブラケット刻印を合わせ、ハンドル上が組立しやすいようにハンドルロックレバーを閉じます。
この時、ハンドルロックレバーをハンドルに沿うように閉じます。



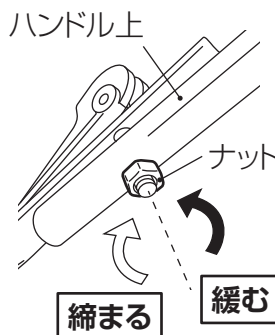
ポイント

ハンドルロックレバーが固くて閉じない時や閉じても固定が緩い時の調整方法は…

- ハンドル上…ナットで調整。
- ハンドル下…ハンドルロックレバーで調整。

締めた時はハンドルロックレバーがきつく閉じ、緩めた時はハンドルロックレバーの閉じが緩くなります。

ハンドル上の場合



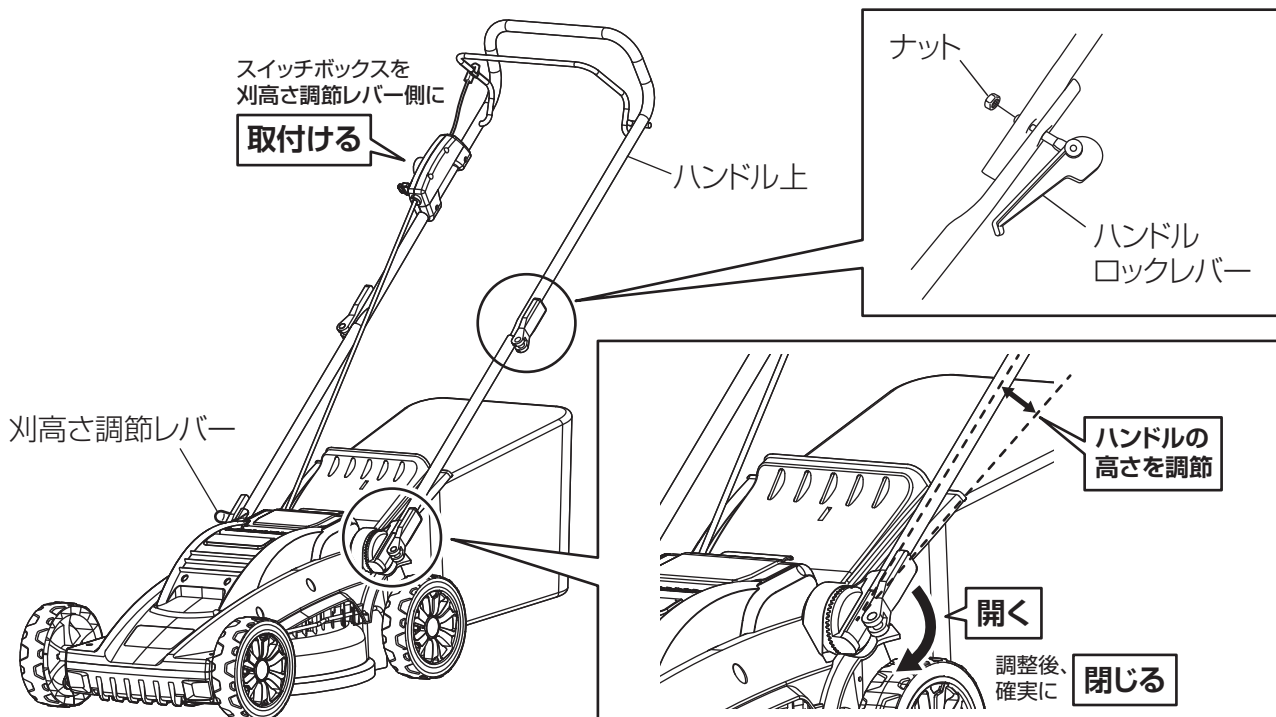
ハンドル下の場合



芝刈機の取扱い

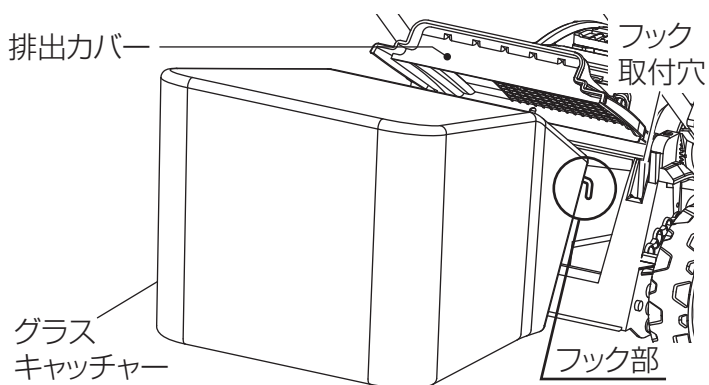
次にスイッチボックスが刈高さ調節レバー側にくるように、ハンドル上をハンドル下に取り付けます。ハンドルロックレバー・ナットを付け、ハンドルロックレバーを閉じて固定した後、ハンドル下を固定しているハンドルロックレバー（左右1個ずつ）を開き、ハンドルの高さを高さ調節ブラケットの3つの刻印の合う範囲で作業に適した高さに調節します。

ハンドルは必ず左右同じ高さになるように設定し、ハンドル調節後は開いたハンドルロックレバーを確実に閉じてください。



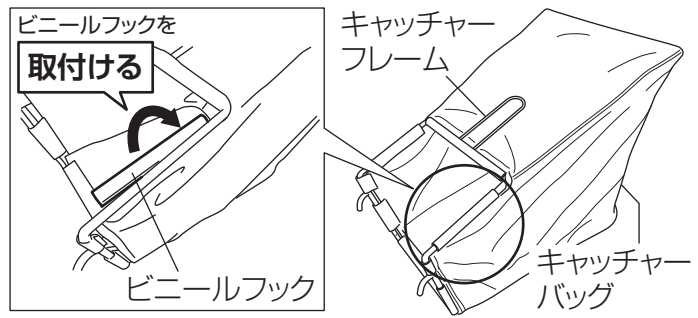
1-3. グラスキャッチャー（集草器）を取付ける

排出カバーを持ち上げ、グラスキャッチャーのフック部をフック取付穴に差し込み、排出カバーを下げてください。



ポイント

ビニールフックがキャッチャーフレームから外れている場合は、キャッチャーフレームの内側からビニールフックを取付けます。



1-4. 刈高さ (刈った後の芝生の長さ) を設定する

⚠ 警告



必ず守る

- 刈高さを調節する時は必ず安全キー・バッテリーを本機から抜き取り、ブレードの回転が完全に停止している事を確認してから行ってください。

⚠ 注意



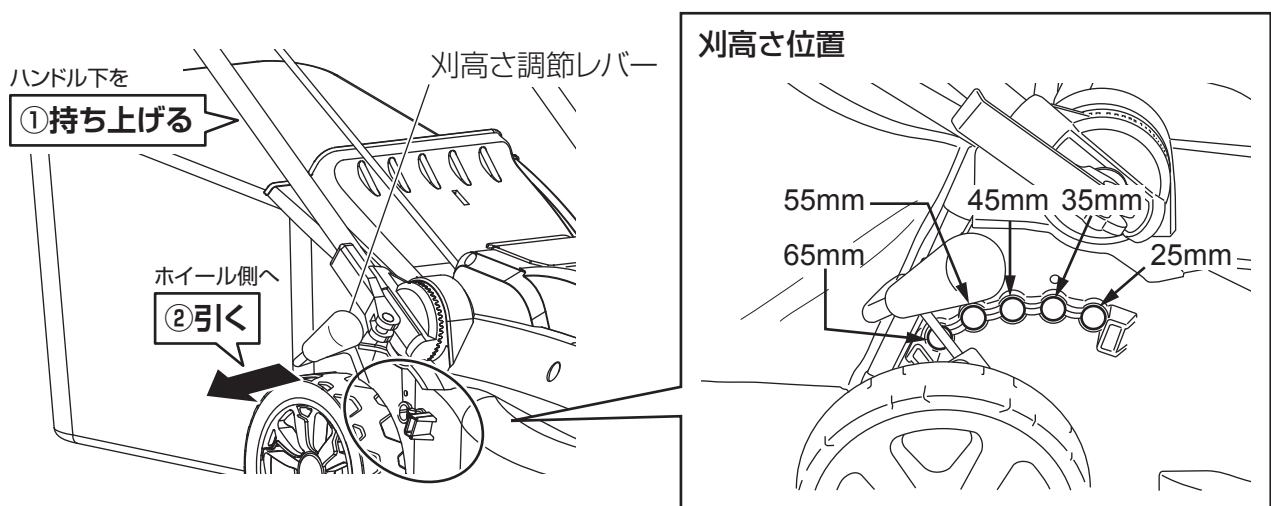
必ず守る

- 刈高さを調節する時は手袋を着用して、手や指、足などを挟まないように充分注意してください。

刈りたい芝生の長さにより、お好みの刈高さ (25・35・45・55・65mm) を設定します。

刈高さ設定のしかた

ハンドル下を持ち上げ、刈高さ調節レバーをホイール側に引き、希望する高さの穴に差込みます。この時、刈高さ調節レバーが確実に穴に入っているかを必ず確認してください。



芝刈機の取扱い

1-5. 作業前の点検をする

⚠ 注意



必ず守る

- 使用前に本機調節箇所及び、組立て方法を確認してください。異常があれば直ちに修理してください。
- 各部のネジ・ブレードナット・ハンドルロックレバーに緩みがないか、各部品に損傷がないか、また正常に作動するか充分点検してください。

ハンドル・グラスキャッチャー等本機の組立てを適切に行っているか、またバッテリーが熱をもっていないかを確認してください。

2. 芝刈作業

⚠ 警告



必ず守る

- 安全キーは、必ず始動レバーを放し、作動ボタンを押していない状態で抜いてください。始動レバーを引いた状態、または作動ボタンを押した状態で安全キーを抜くと、始動レバーを引くだけでブレードが回る恐れがあります。

2-1. 芝刈作業をする

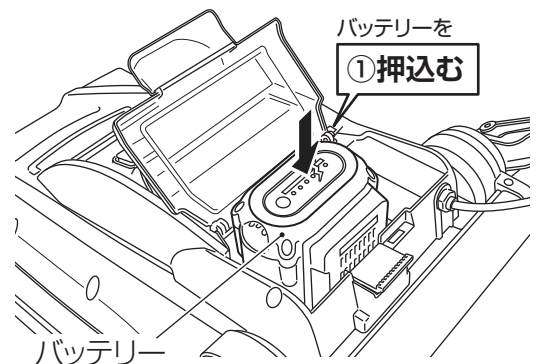
⚠ 警告



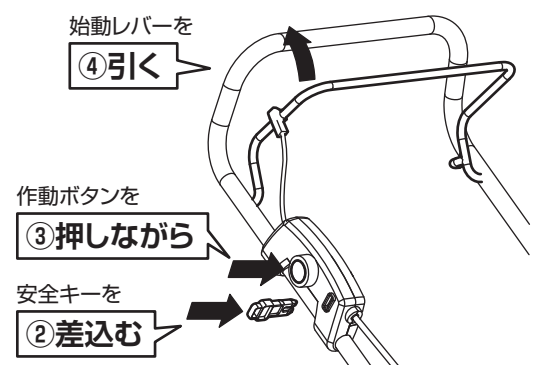
必ず守る

- 作業中は事故防止の為、取扱説明書の警告の項及び本機の危険、警告ラベルの指示に従ってください。
- 作業に適した服装(裾・袖にダブつきのない長袖・長ズボン)で、安全帽・手袋・防塵メガネ・耳栓等を着用し、足元の保護のために安全靴を履いてください。

- ① 充電したバッテリーを本機に“カチッ”と音がするまで確実に押し込みます。



- ② 安全キーをスイッチボックスに差し込む。
- ③ 作動ボタンを押しながら始動レバーを手前に引くとブレードが回転します。
- ④ ブレード回転が最大一定回転になってから芝刈作業を開始します。



ポイント

- 安全キーを挿入していない場合や作動ボタンを押していない場合でも始動レバーは動きませんが、電源は入りません。
- 芝刈作業中は、作動ボタンを常時押し続ける必要はありません。

芝刈機の取扱い

⚠ 注意

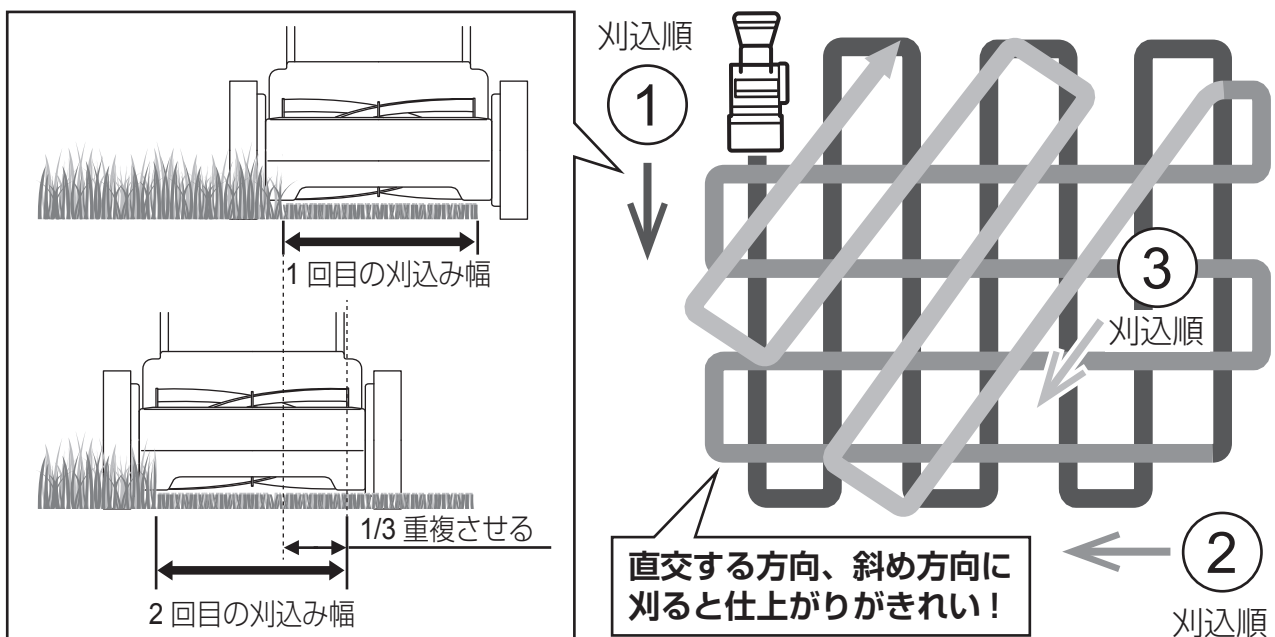


必ず守る

- 長く伸びた芝生を刈取る場合は、最初は刈高さを高くし、順次高さを低くして刈込んでください。最初から短く刈込むと芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も傷めます。

⑤ 刈込み幅を全部使わず、常に刈込み幅の約 1/3 程度重複して刈れば、平らにしかもきれいに刈込めます。

⑥ また一通り刈り終えてから今までと直交する方向、斜め方向で刈込めば、さらに刈跡がきれいに仕上がります。



ポイント

- 最初は刈高さを高い位置にセットし、日を置いて順次短く刈込むようにしてください。
- 芝生が 100mm 以上伸びている場合、あらかじめ芝生鋏等で 100mm 以下に刈込んでください。長すぎる芝生を刈ると、故障の恐れがあるばかりではなく、大切な芝生を傷める場合があります。また、刈跡がきれいに仕上がりにません。
- 一回の刈込みで刈取る芝生の長さは 10~30mm になるように、芝生に応じて刈高さを調節してください。
- 刈込み頻度は生育最盛期には週 2 ~ 3 回、それ以外の期間では月 1 ~ 3 回が目安です。

芝生鋏などでカット



芝生高さ: 100mm以上 → 100mm以下 → 65mm

ポイント

● 斜面で芝刈作業をする時は…

斜面での作業は上下方向ではなく、必ず横方向（等高線方向）で行います。

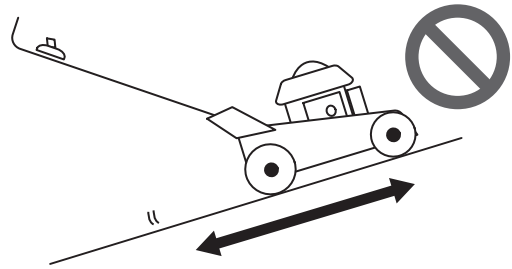
ただし、横方向（等高線方向）で行う場合でも、本機が10度以上傾く場合は危険です。このような場合は絶対に作業をしないでください。

● 軸刈りはしない

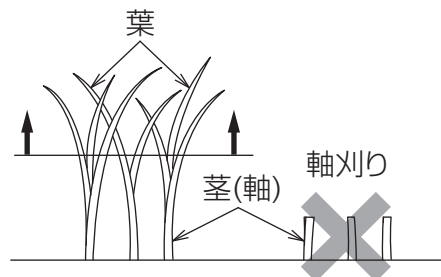
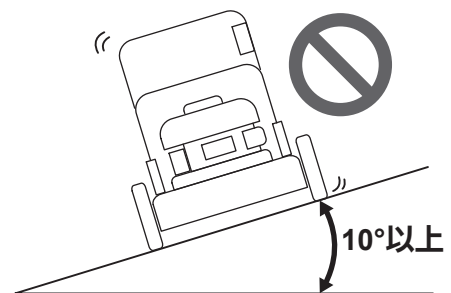
必ず茎だけ（軸刈り）にならないよう、葉の部分が残るように刈込みます。もし軸刈りになると芝生が枯れ、再生するまでにかなりの時間を要します。

- 芝刈作業中、モーターに異常負荷がかかるとバッテリーの保護回路が作動して、モーター（ブレード）の回転が停止します。このような場合は必ず作業を中止し、P.23を参照して対処ください。

斜面の上下方向の刈込みは禁止！

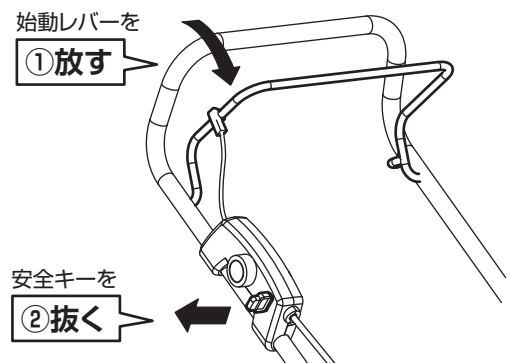


傾斜角度 $\geq 10^\circ$ の場合、横方向（等高線方向）の刈込みも禁止！



2-2. 芝刈作業を終了する

- ① 始動レバーを放し、ブレードの回転を停止させる。
- ② 安全キーを抜きます。



お手入れ方法と保管方法

1. お手入れ

⚠ 警告



必ず守る

各点検・整備・調整は…

- 事故防止のために必ず行ってください。
- 必ず安全キーとバッテリーを本機から抜き、ブレードの回転が完全に停止している事を確認した後に行ってください。
- ケガ防止のため、安全帽・防塵メガネ・手袋・安全靴等を必ず着用してください。

⚠ 注意



必ず守る

- 本機に異常を感じた時はただちに作業を中止し、修理が必要な場合は必ずお買い求めの販売店へ申し付けください。
- 取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないでください。また必ずプロギア純正部品、付属品を使用してください。

1-1. ブレードの交換

⚠ 注意



必ず守る

次の場合、必ず交換を行ってください。

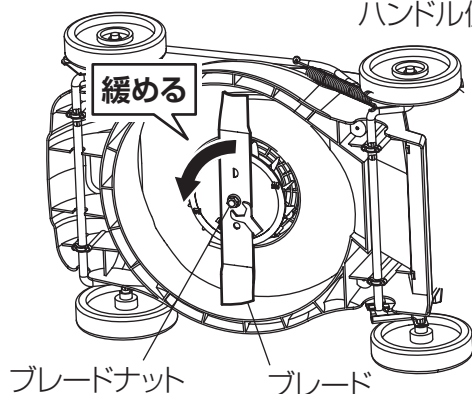
- 作業前のブレード点検で、“割れ・曲がり・摩耗”等の異常があった場合。
- 作業中にブレードが石・金属・木片等に当たり異常がある場合。
- ブレードナット等も同時に点検し、“摩耗・破損・亀裂等”があった場合
- ブレード、ブレードナット等の交換部品は、プロギア純正部品を必ずご使用ください。

① 始動レバーを放してブレードの回転を停止させ、安全キーとバッテリーを本機から外します。

② 本機を横転させ、ブレードが回らないように確実に固定し、ブレードナットを緩め(左回し)、ブレードを取外します。

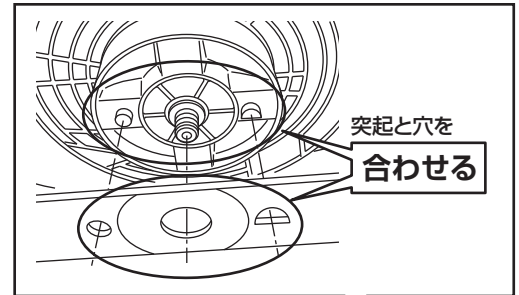
本体前側

ハンドル側

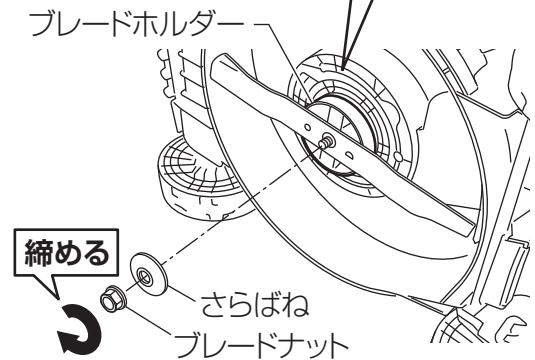


お手入れ方法と保管方法

③ ブレードの取付けの際は、ブレードホルダーの突起(丸・半月)とブレードの穴(丸・半月)が合うように取付け、各 부품の組み忘れがないようにし、緩まないように確実に締付けます(右回し)。



④ ブレードの取付け後は、ブレードを手で回してハウジングに接触しないことを確かめ、再度ブレードナットの締付けを確認してください。



1-2. 芝刈機のお手入れ

⚠ 警告



必ず守る

- 使用していない時(保管時)は、必ず安全キーとバッテリーを本機から取外してください。
- 本機を水洗いしないでください。感電する恐れがあります。

⚠ 注意



必ず守る

- 調整、お手入れ等の際は、ケガ防止の為に必ず手袋を着用し、充分安全に注意して行ってください。
- お手入れの際はガソリン、シンナー、ベンジンは使用しないでください。

いつまでも最良の状態を保つために、ご使用後は本体・グラスキャッチャー・ハンドルをきれいに清掃し、油布で金属部の手入れをした後、日中よく乾燥させてください。

ポイント

- 芝刈機お手入れセット ※別売

No.538503

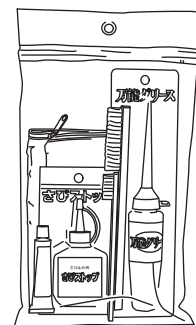


芝刈機のお手入れに欠かせない商品が一袋にまとまっています。

セット明細

- グリス
- さび止め
- ブラシ(大・小)
- ウェス
- コンパウンド
- ファスナー付き手さげバック

※ご用命の際は本機をご購入の販売店、又は貼付のQRコードをお使いください。



お手入れ方法と保管方法

2. 保管について

⚠ 注意



必ず守る

- バッテリーを最良の状態に保つ為に、使用していない場合でも2ヶ月毎に充電してください。

まずハンドルを折りたたむ等の処置を施し、倒れても危険のないようにした後、湿気やホコリが少なく、子供の手の届かない場所で保管してください。

また長期保管をする前には、安全キーとバッテリーを抜き、刃先や可動部に機械油を注油し、特にブレードがサビないように油拭きをしてください。

2-1. ハンドルの折りたたみ方

⚠ 危険



必ず守る

- ハンドル下と本機を固定しているハンドルロックレバーだけを開いた状態で、ハンドルを前方に倒さないでください。
スイッチが不意に入り、ブレードが回転して大変危険です。

⚠ 警告

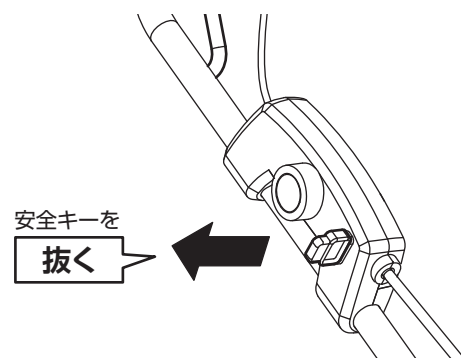


必ず守る

- ケーブルをハンドル折りたたみ時に巻き込んだり、挟み込んだり、折ったりしないでください。本機の性能を充分発揮出来ないばかりか、緊急時に事故回避操作ができない場合があります。
- **必ず安全キーとバッテリーを本機から抜き、ブレードの回転が完全に停止している事を確認した後にハンドルを折りたたんでください。**

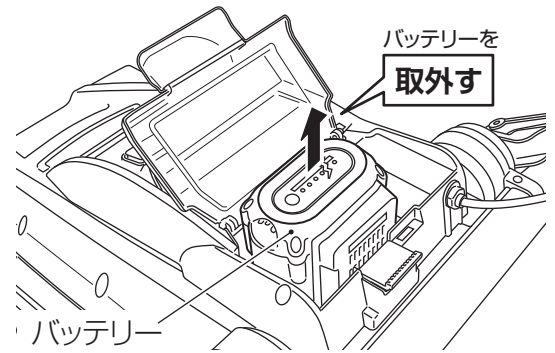
保管をする時や持ち運ぶ時は、下記の方法で必ずハンドルを折りたたんでください。

① 安全キーを抜きます。



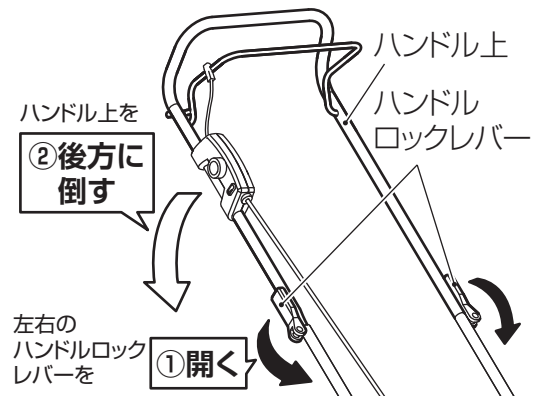
お手入れ方法と保管方法

② バッテリーを取外します。



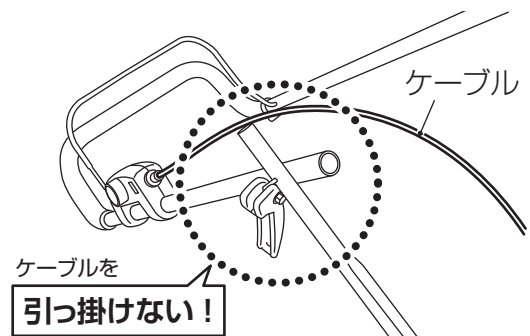
③ グラスキャッチャーを取外します。

④ 片手でハンドル上を支えながら、ハンドル上とハンドル下を固定しているハンドルロックレバー（左右各1個）を開き、ハンドル上を後方に倒します。

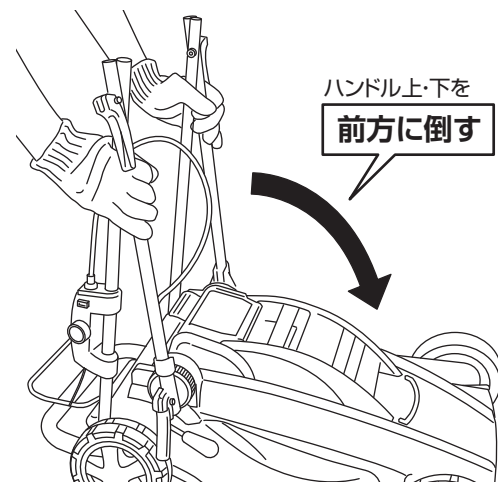
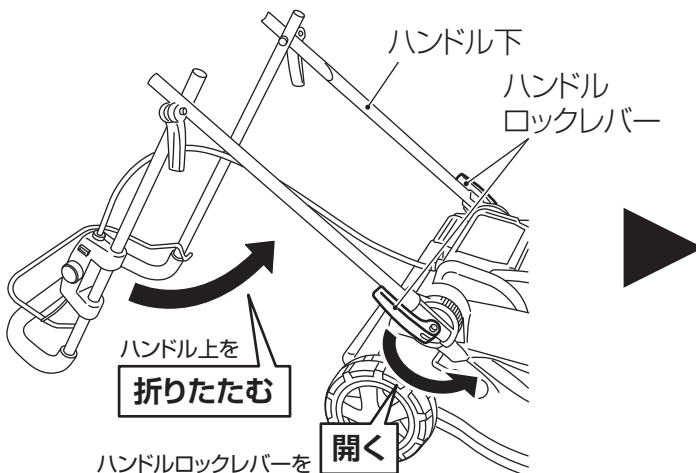


ポイント

ハンドル上を後方に倒す時は、ケーブルをハンドル・ハンドルロックレバー等に引っ掛けないように、ご注意ください。



⑤ ハンドル下と本機を固定しているハンドルロックレバー（左右各1個）を開き、ハンドル上を折りたたんだ状態で前方に倒します。



お手入れ方法と保管方法

2-2. 長期保管後のご使用について

長期保管後のご使用前は回転部に機械油又はグリースなどを注油し、バッテリーを満充電してください。

異常がある時はむやみに分解せず、ただちに使用を中止し、お買い上げ頂いた販売店またはサービス店へお申し付けください。

トラブルシューティング

本機に異常があれば、修理に出される前に下表より原因を探り適切な対策を施してください。

不調の状況	予想される原因	対 策
モーターが作動しない。 またはブレードが回転しない	バッテリーの残量がない	充電する。(P.12参照)
	バッテリーの保護回路が作動している。	負荷原因を取除いてから、動作確認をする。(P.26参照)
	バッテリーがしっかり差込まれていない。	“カチッ”と音がるまで差込む。(P.12参照)
	安全キーが差込まれていない。	安全キーを差込む。
	ブレードホルダーが破損している。	ブレードホルダーを交換する。
芝生が上手く刈れない。	ブレードが摩耗・欠け・曲がっている。	ブレードを交換する(P.20参照)
	芝生の刈取り長さが長い。	本機の刈高さを高くするか、芝生の高さを100mm以下になるように下刈りをする。(P.15参照)
	刈込み速度が速い。	適正な速度で刈り込む。
	芝生が濡れている。	雨後、散水直後等の濡れた芝生は刈らない。
安全キーが抜けているのに、ブレードが回転する	始動レバーを引いた状態、または作動ボタンを押しながら安全キーを抜いた。 安全キーを差込んでから始動レバーを放し、なおかつ作動ボタンを押していない状態で、安全キーを抜く。	

※表は簡単なトラブルシューティングしか記載しておりませんので、わからない点や複雑な異常はお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

トラブルシューティング

1. こんなときは…

1-1. バッテリーの保護回路が作動した時は…

⚠ 警告



必ず守る

必ず作業を中止する

- 始動レバーを放すと保護回路が復帰するので、再度始動レバーを引くとブレードが回る恐れがあります。異常負荷の原因を取除いてから作業を開始してください。
- 芝刈機に詰まった異常負荷の原因である芝生・雑草・異物を取除く時は、必ず安全キーとバッテリーを本機から抜き取り、**ブレードの回転が完全に停止している事を確認した後**に行ってください。

作業中、モーターに異常負荷がかかるとバッテリーの保護回路が作動して、自動的に電源が切れます。

復帰のしかた

- ① すぐに始動レバーを放し、ブレードの回転が完全に停止した後に安全キーとバッテリーを本機から抜き取ります。
- ② 異常負荷の原因である、ブレードに詰まった芝生・雑草・異物や排出口付近にある芝生、雑草等を取除きます。また刈取る芝生の長さが長い場合は、本機の刈高さを高くして刈取り長さを短くします。
- ③ 負荷原因を取除いてから2~3分以降に、安全キーとバッテリーを差込みます。
- ④ 動作確認を行ってから作業を再開してください。

ポイント

上記の対処をしても保護回路が作動する場合は、バッテリー・モーター等の故障が考えられるので、お買い求めの販売店にお申し付けください。



製造番号

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を末長くご愛用いただきますようよろしくお願いいたします。

本 社

兵庫県小野市本町10番地 〒675-1372
TEL (0794) 62-2391代 FAX (0794) 63-5211

東京支店

東京都中央区日本橋小伝馬町8番3号 〒103-0001
TEL (03) 3664-8811代 FAX (03) 3664-8860

九州支店

佐賀県鳥栖市養父町473番地2 〒841-0005
TEL (0942) 85-9277 FAX (0942) 84-2700

新潟・三条出張所

新潟県三条市神明町2番1号 〒955-0063
TEL (0256) 32-9971 FAX (0256) 32-9671

KINBOSHI

Corporation

園芸機器総合メーカー

キンボシ 株式会社

2087Ci-1609